

「課題名：外来院内処方せんへの薬剤別検査値と投与量の表示による
疑義照会への影響と有用性の検討」について

○ 研究の意義・目的

外来院内処方を受けた患者さんに対して、薬剤の投与量の適正化を図るため、処方せんに検査値を印字する取り組みを行っています。投与量の変更に結び付いた実例を調査するため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2020年6月1日から2020年11月30日までに、広島大学病院で外来院内処方を受けられ、薬剤部が検査値を基に疑義照会を行った患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、年齢、体重、性別、血液検査（WBC、RBC、Hb、PLT、NE#、NE%、T-Bil、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、Na、K、Cl、Ca、補正Ca、ALB、UN、CRE、e-GFR、UA、T-Cho、TG、HDL-CHO、LDL-C、Glu、HbA1c）です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2025年11月30日（解析期間含む）

○ 個人情報の保護

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんので安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5578

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 岡本翔子（担当者）